



深山たかし

発行元：深山たかし後援会
上尾市大字上1774-7
048(776)0575
ホームページ

fukayama.net
”深山たかし”でも閲覧できます。

議会レポート

新図書館複合施設 建設予定地の今後 No. 2

昨年六月議会の、図書館建設工事の見直し方針が出されて以降、全力で提案や説得を行っておりですが「覆水盆に返らず」のことわざの様に、解決まで相当な時間と労力が必要となつてしまいました。皆様へ、良い報告が出来ないもどかしさがあります。

質問と答弁要旨

問 十二月定例会の答弁では、新図書館複合施設見直しに伴う上平の土地の暫定整備は、平面利用を前提に行うとのことであったが、整備の概要は。

答 平成三十一年度当初予算に、グラウンドゴルフなどができる多目的広場として整備するための費用を計上した。

整備の概要は、広場のダスト舗装、臨時駐車場・駐輪場の採石舗装や仮設トイレの設置などを予定している。

問 上平の土地に造る新しい複合施設の検討の際は、多くの市民の意見を取り入れ、検討状況もオープンにしなから進めてほしい。五月には、新しい複合施設について審議する検討委員会を立ち上げるとのことだが、その検討結果によつては、

建物の建設を行わず、グラウンドゴルフや公園などの平面利用となる可能性もあるのか。

答 上平の土地は、公共施設マネジメントにおいて、公共施設の複合化という課題解決のため有効活用する方針であり、グラウンドや広場、公園といった平面利用のみの整備は想定していない。

【条例制定】

上平地区複合施設の整備に関する検討委員会を設置にあたり、執行部より各会派より議員四名を委員に選出する提案がなされましたが、一般の委員に比べ議員は、情報量も多く、その発言が委員会の方角性を左右する可能性があり、修正動議を提出することにした。

〈概要〉

上平地区に建設する新たな複合施設の機能や基本構想、整備など

を審議する検討委員会を設置するもの。

委員は十人以内とし、「市議会の議員を四人以内」、「識見を有する者四人以内」、「広く市政に関し知識または経験を有する市民二人以内」とする。

問 委員として、広く市政に関し知識または経験を有する市民を二人以内置くところだが、選出方法は。

答 現在の想定では、区長会などに打診する予定である。

問 委員委員の公募はしないのか。

答 平成三十一年度に正式決定するので、現段階では全ての可能性を否定しているものではない。

【提案内容】

委員構成のうち、「市議会の議員を四人以内」を削除し、「広く市政に関し知識または経験を有する市民二人以内」を「六人以内」とする。

【提案理由】

諮問を受け、答申を出す側の検討委員会の構成メンバーに、議員枠はなじまないことから、議員枠を市民に振り替える。

上平地区複合施設の検討委員会に対する修正案が可決本条例案に対し、修正案が提出され、全会一致で可決された。

平成三十一年度
一般会計予算を
一部修正し可決

新年度予算で、図書館本館の大規模改修予算が計上されています。

この予算は、上平の図書館複合施設建設予定地が中途半端な状況であり容認できないと考え、「図書館本館は最小限の修繕に留めべき」と保守系議員と

共に修正動議を提出しました。

【概要】

平成三十一年度上尾市一般会計予算は、三月二十日の本会議で予算の一部を削除した修正案が提出され、三月二十一日に可決されました。

本会議で新政クラブおよび公明党の所属議員から、図書館本館やコミュニティセンター、

商工会館の施設改修工事中の一時移転先として、民間施設(PAPA上尾ショッピングセンター、ヴェニュー)の空きスペースを活用する事業費などを削除する修正案が提出され、三月二十一日の本会議で全会一致にて修正可決しました。

その後、市長から、予算修正には異議があるとして、審議のやり直しを求め、二十七日に招集された臨時会に

おいて、あらためて採決した結果、再可決に必要な出席議員の三分の二以上の賛成により、先の議決(修正可決)が確定しました。

なお、修正部分以外の予算については原案のとおり可決しました。

臨時議会概要
補正予算可決

四月十六日開催

図書館本館の一部を応急的に工事する事業(八百六十万八千円)や消費税率引き上げに合わせて発行するプレミアム付き商品券事業(八億七千九百二十六万円)などを盛り込んだ九億三千七百七十五万円の一般会計補正予算を賛成多数で可決しました。

なぜ議会は、PAPAの民間床利用を認めなかったのか(解説)

上平の図書館本館の建設用地の活用をどうするかという議論がこれからのPAPAの床を借りて、ここに現図書館本館を引っ越してまで大規模改修をするという市の方針には議会としては、時期尚早との判断から、修正案を出し、これを可決しました。

一方、今後早い時期に、上平地区複合施設の整備に関する検討委員会を設置して、検討を進めていくことになりました。

私としては、この検討委員会の検討経緯と、その結果を注視するとともに、畠山市長が中断し、大きな混乱に陥っている「図書館本館の建設問題」について、

今後どのような道筋をつけて対処し、解決していくのか、注目して見ていきたいと思っています。

これで、議会側で提案した修正案が確定したことになりました。